

DHカフェ「学生部だより」

2016年 12月 VOL.34

各校の活動風景

○福島県立総合衛生学院

3学年 高橋 美咲さん

研修旅行では、花王ミュージアム、東京ディズニーシー、日本口腔衛生学会に行きました。花王ミュージアムでは、日本の清浄史について花王の製品の歴史とともに見ることができました。大昔から人々の知恵で清浄が進歩し、より良い生活のために考えられて今に繋がったのだと学ぶことができました。

ディズニーシーではキャストの皆さんが、ゲストである私たちのために常に明るく対応されているのが印象的でした。システムの不具合があったときも丁寧に対応していて、私達も臨機応変にかつ丁寧に対応できる歯科衛生士になりたいです。

学会ではたくさんの発表があったが、全ての内容に目的があり、明確な結果が出なかったものにはその理由、今後どう活かすかまで考えられていました。中には学生を研究対象とした発表もあり面白かったです。それらの様々な研究から新しい方法が生まれてきたということが分かりました。

クラスのみならず無事に楽しく旅行ができ、良い学び、思い出になりました。



○東北歯科専門学校

3学年 柴崎 恵さん

一学校行事について

東北歯科専門学校は実習や学習環境が整っているだけでなく学校行事が充実しております。球技大会や各学年のバス旅行、大学祭の模擬店など多岐にわたっており、3年間を通じて楽しむことができます。中でも印象に残っているのは、先日行われた球技大会でチーム一丸となってバレーボールの優勝を目指し頑張りました。惜しくもメダルは貰えませんでした。とても盛り上がりリフレッシュ出来ました。また、競作展では歯科用媒体を作成し、その中で優秀な作品を表彰します。毎年、多種多様な力作揃いで自分にはなかったアイデアに感心し学ぶことが多い行事です。行事を重ねるごとに普段見られない友人の意外な一面を発見したり、絆を深めることができます。臨床実習終了後には、最大の学年行事となる歯科企業研修とディズニーリゾートを控えております。3年生にとっては最後の行事となるので、今からとても楽しみにしており良い思い出を作りたいと思っております。



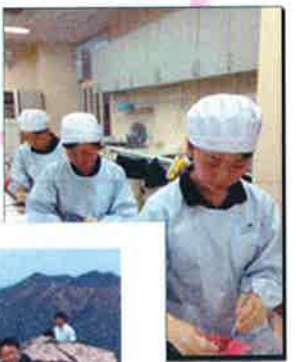
○福島医療専門学校

1学年1部 水野 ひかるさん

一新入生研修会を通して

福島医療専門学校に入学して初めての学校行事である「新入生研修会」では、3科合同で協力し合い、登山、野外活動、だるま作りをしました。中でも特に印象に残っているのは、登山です。本格的に登山を経験したのは今回が初めてでした。登山は思っていたよりもきつく、1人だったら登りきれなかったかもしれません。同じグループのみんなが励ましてくれたおかげで、「最後まで頑張ろう」という気持ちになれました。頂上についた時の喜びと達成感はとても大きかったです。研修会を通し、仲間を思いやる大切さと、何事も諦めずに取り組む姿勢が結果に結びつくことを学びました。さらに歯科衛生士だけでなく、普段話す機会が少ない柔整科や鍼灸科の学生とも交流をはかることができました。

医療人を目指す仲間達と共に支え合い励まし合いながら、国家試験合格を目指して、有意義な3年間を過ごしていきたいです。



発行/一般社団法人福島県歯科衛生士会
組織委員会
〒960-8015 福島市仲間町6-6
福島県歯科医師会館内





プロフェッショナルの現場 H28



○ときわ会 常磐病院

島 美香さん

私は、公益財団法人ときわ会に勤務して、在宅療養中の方や施設に入居している方の訪問歯科診療及び口腔リハビリテーション、口腔ケアを専門に活動しています。

ケアマネージャーから訪問の相談・依頼を受け、医療・介護の情報を集約し、日程調整をして訪問します。在宅での環境はそれぞれ異なるので、多職種の方たちと情報交換を密にし患者様やご家族の生活に寄り添った診療、ケアが提供できるよう心掛けています。

今後は歯科に通院することが困難な方が歯や口腔を健康に保つことをあきらめてしまうことがないように、訪問歯科診療、ケアを広めていきたいと思っています。

地域包括ケアシステムが進む中で、在宅医療はこれからどんどん進んでいくと思います。

これから歯科衛生士になる皆さんは地域医療や介護の現場でも求められる人材になるでしょう。多くの実習を経験し、まずは、国家試験に向けて、励んでください。



○あづま脳神経外科病院

口腔衛生科主任 神山 宜江さん

私は歯科衛生士になり14年が経ちました。福島県立総合衛生学院を卒業し一般歯科で勤務したのち、現在はあづま脳神経外科病院に勤務しています。急性期から回復期、維持期と老人保健施設で口腔ケアの業務を行っています。歯科衛生士は現在私を含め3名います。チーム医療の中で歯科衛生士だけでは入院患者さんや入所者の方の口腔管理はできません。より良い口腔環境を保てるように多職種と連携しながら早期経口摂取と誤嚥性肺炎の予防を目的に取り組んでいます。

私は、今の職場で歯科衛生士は一生涯人に尽くせる職業だと実感しました。働いているといろいろな場面に遭遇します。そのような中で患者さんやご家族から「ありがとう」という言葉に、うれしさと喜びを感じる事が多くあります。私は、「ありがとう」という言葉を励みに歯科衛生士という職業をこれからも満喫していこうと思います。学生さんも「ありがとう」という言葉を沢山かけてもらえるような歯科衛生士になってください。



○福島県立医科大学付属病院 歯科口腔外科

矢吹 舞子さん



病院歯科に勤め1年半が経ちました。口腔疾患や全身疾患についてはまだわからないことが多く勉強の毎日ですが、口腔ケアを行った患者様の口腔内状態の改善やセルフケアに対して前向きな言葉を聞けると嬉しく、またやりがいを感じています。

がんやその他の全身疾患と闘う患者様にとって、私が行えることは小さな援助かもしれませんが、患者様の食べる、話す機能を整え、QOLを守る一員としてこれからも学び、成長していきたいと思えます。

○南相馬市役所原町保健センター

和田 嘉代子さん

私は、保健センターに勤務しています。歯科衛生士学校を卒業後、臨床現場を経験せずに行政で働き始めました。不安でいっぱいでしたが、頼もしい素晴らしい歯科衛生士会の先輩が沢山いて、色々ご指導くださり仕事を続けることができています。

行政の歯科衛生士は、臨床現場と大きく違うことなく、お口の健康づくりであり全身の健康増進です。歯科衛生士は「食べたいものをおいしく食べられること、口を大きく開けて笑い、楽しくおしゃべりができる」ようお口の健康のみにとどまらず、幅広い分野で活躍できる素晴らしい職業だと思います。将来、皆さんと一緒に活躍できることを楽しみにしています。

毎日、多忙な日々を過ごしているかと思いますが、多くの知識・技術を習得すること、一緒に学ぶ仲間との時間は歯科衛生士として輝くための貴重なものです。目標達成のために、もうひと踏ん張り頑張ってください。



小学校保健指導

○福島県立医科大学付属病院 歯科口腔外科

遠藤 裕子さん



私は医大歯科口腔外科で歯科衛生士業務に関わっております。外来では、主に口腔外科領域の疾患や基礎疾患があり院内外から紹介された患者様の歯科治療に関わっております。さらに、がん化学療法や放射線療法、手術、臓器移植などの治療期（周術期）、および緩和ケア期の口腔機能管理にも関わっております。この時期、個々の口腔内環境、周術期の治療方法や期間によって口腔内には口腔粘膜炎、口腔乾燥、味覚異常、嚥下障害など様々な症状が出現します。このような口腔内トラブルが重篤化すると、本来受けるべき大切な治療が中断されることがあります。そのような状況にならないために、患者様の体調や心の訴えも考慮しながら、口腔粘膜事象や機能障害を最小限に抑えられるよう、日々口腔ケアに関わっております。

私は今、病院歯科で勤務していますが、卒後5年間開業医に勤務し、その後5年間は公衆衛生の業務に関わってきました。

皆さんは近い将来、歯科衛生士として社会に貢献することと思います。活躍できる場は広く、それに伴って知識も広く深く必要になってきます。臨床実習はより現実的な環境に近いもので、自分が活躍したい場のイメージが持てるのではないのでしょうか。そして、資格取得のための国家試験の勉強は、歯科衛生士として必要な基礎知識です。今はとても忙しく大変な時期かと思いますが、仲間と励まし合いながら今を乗り越えてください。

同じ歯科衛生士として、活躍できる日を楽しみにしています。

○福島県立医科大学付属病院 歯科口腔外科

熊谷 浩美さん



私は今、非常勤で本病院口腔外科で働いています。以前は一般歯科医院に28年間勤務し、歯科診療補助や歯周治療、メンテナンスを通じて患者様との関わりにやりがいを感じていました。今は周術期の患者様の身体や口腔内の状況に合わせ、心に寄り添える口腔ケアをと励んでいます。

皆様が講義や実習で幅広く知識や技術を学び選択肢を広げ、様々な場所で生涯歯科衛生士として活躍することを願います。